

□ 子どもの読書活動推進に関する取組 □

(令和7年度実施事業から)

## 【目 次】

I	小学校	1
II	中学校	9
III	高等学校	11
IV	こども園・保育園・幼稚園・保育所	12
V	読書ボランティア団体	18
VI	市立図書館	20

# I 小学校

## 1 盛小学校

(1) 朝読書・読み聞かせの取り組み

毎週月曜日の朝活動の時間に実施。読み聞かせは、市内の読書ボランティア「おはなしころりん」にご協力いただいている。

(2) 学級文庫の充実

各学級に、「おはなしころりん」よりお借りした図書を置いて、自由に読むことができる環境になっている。本は月1回入れ替えていただいている。

(3) 読書目標の設定

学期ごとに目標冊数を設定し、達成した児童には、各学期末に多読賞賞状を発行している。学期途中で2回程、達成度を担任に伝えて、指導に活かしていただいている。

(4) 図書室の環境整備

週1回、図書ボランティアとして2名来校し、本の修理や季節にあった掲示をしていただいている。

(5) 国語科関連図書コーナーの設置

教科書で紹介されている図書を集めて特設コーナーとしている。学年のリストを持たせて、その中の本を15～20冊借りた児童には、特典として“プレミアム2冊券※”を発行するほか、達成者の名前を図書室に掲示している。

(6) 図書まつりの実施

各学期に1回、図書まつりを行っている。スタンプラリー、読書ビンゴ、おすすめの本コーナー設置などを図書委員会の企画で行っている。

また、期間内に借りた冊数に応じて“2冊券※”を発行している。

※2冊券…本を借りる際に出すと、もう一冊借りられるサービス券。また、プレミアム2冊券は提出せずに使用できて、通年利用できる。

## 2 大船渡小学校

(1) 各教科の中での読書活動（年十数回）

国語・並行読書や社会・総合的な学習の時間の調べ学習の中での読書。本は限られているが、昨年度、新たに活用できるような本を購入することができ、活用の機会が増えた。

(2) 読書感想文（年1回）

中学年が取り組み、1人1冊の本について感想文を書いた。

(3) 朝読書（週1回）

金曜日の「朝学習」の時間に、15分間の読書の時間を設定している。週1回ではあるが、集中して本を読んでいる。

(4) 親子読書（年2回）

夏休み・冬休み期間中に親子でともに読書をし、感想を書く活動を続けている。「親子読書」は各家庭にとって難しいのが現状だが、実施後の感想を読むと肯定的なものが多いので続けて

いきたい。

- (5) 「おはなしころりん」による読み聞かせボランティア（年 12 回）  
年に数回、各学年に入って読み聞かせをお願いしている。限られた回数ではあるが、児童は楽しみにしている。
- (6) 図書支援活動地域ボランティアの活動（年 20 回）  
蔵書管理から図書配架の工夫まで、子供たちが本に親しむような活動を行っている。今後も継続した活動をお願いする。
- (7) 図書委員会の活動
  - ① 毎日の貸出活動
  - ② 「読書の木」「集めてぺったん」「お褒め本イラストコンクール」等のイベントを計画し、読書を推進している。

### 3 末崎小学校

- (1) 図書ボランティアの活用および配架場所の工夫  
図書ボランティアの協力のもと、教科の学習に活用できる「学年の本」コーナーに加え、「いわ100」コーナーや「震災関連」コーナーも設置することができた。新書については、テーブルの上に並べたり、ブックスタンドに置いたりして、児童が本を手にとりたくなるような工夫をしている。  
また、本棚やテーブルの配置を工夫することで、落ち着いた環境の中で読書できるようにしている。
- (2) 「多読賞」の表彰  
学年ごとに「目標冊数」を提示し、達成した児童に賞状を配布している。目標を設定することで、たくさん本を読む児童が増えている。
- (3) 図書委員会の取組  
11月に「図書祭り」を企画し、活動している。「図書ビンゴ」の取組で、ビンゴを達成すると、図書委員作成のしおりがもらえる。「図書ビンゴ」は、様々なジャンルの本を借りることを目的としている。  
また、年間を通して、図書委員の選書による「おすすめの本コーナー」を設置している。面白い本、季節に応じた本など、テーマを決めて選書している。
- (4) 特定非営利活動法人「おはなしころりん」・市立図書館との連携
  - ア 移動こども図書館  
年間を通して、移動こども図書館を利用し、「おはなしころりん」や市立図書館が選書する図書を各学級に配架することを通して、発達段階に応じた様々な本に触れることができるようにしている。
  - イ お話会  
児童が本と親しむ時間の確保や、本に興味をもつための工夫として、年間15回程度、水曜日の朝活動の時間に、「おはなしころりん」が選書し、持参した本を教室で読み聞かせをしていただいている。
- (5) 家庭読書の推進  
家庭学習の一環として、毎日5分以上の家庭読書に取り組ませている。家庭の協力を得ながら、毎日読書をするという習慣が身に付いてきている。

## (6) 親子読書

長期休業中に親子で本を読む機会を設定している。親子で読書をすることにより、1人で読書をするよりも楽しさが増す機会となっている。

## 4 赤崎小学校

### (1) 読書週間

- ① 読書タイム 昼の帯時間で読書を行う。
  - 時間が確保され本に親しむことができた。
- ② 読み聞かせ 朝読書の時間、図書委員が1・2年生に対して、大型絵本などの読み聞かせを行う。
  - 1・2年生が喜んで聞いてくれた。紹介した本の関連本の紹介により、読書意欲が高まった。図書委員は達成感を味わえた。
- ③ 図書郵便 「図書郵便はがき」で本を紹介しあう。
  - 異なった学年で本の紹介をしあうことができた。
- ④ 家庭読書 家庭で読書に取り組む。(1週間)
  - カードを使った取り組みなので、この期間はいつもより頑張って読む児童が多い。
  - 取り組みに個人差がある。(本人・家庭による評価アンケートから)

### (2) 読書まつり(11月9日～27日)

- ① 読み聞かせ(図書委員)
- ② 図書郵便
- ③ 読み聞かせ「おはなしころりん」おはなし会
  - 学校にはない本の紹介をしてもらえた。じっくり本の世界に浸る時間となった。
- ④ 図書ビンゴ 分類番号でビンゴ
  - さまざまな分類の本を読む機会となった。
- ⑤ くじ引き 期間中5冊以上読んだ児童を対象に、景品付きのくじ引きを行う。
  - 毎日、本を借りに来る児童が多くなった。

### (3) 先生方のおすすめ本

昼時間の校内放送で、先生方におすすめの本を紹介してもらおう。図書室に本を展示する。

- いろいろな本に触れる機会となっている。

### ◎新規実施予定

学年のおすすめ本 発達段階に応じて読んでほしい本をリストアップし読ませる。

## 5 猪川小学校

### (1) 読書教科週間(6月・11月)

- ・図書委員会の活動と併せて、「図書ビンゴ」をおこなった。ビンゴ達成した際に、図書委員が準備している2冊券カードやしおりがもらえる。
- ・朝活動での読書(週1回)を読書週間中は毎日読書の時間として、読書に親しむ。
- ・期間中の読書冊数調べとお知らせ。

- ・図書委員による、1～3年生への本の読み聞かせ。

(成果) 期間中はたくさんの児童が本を借り、読書推進の効果が見られた。

(2) 朝読書 (週1回)

- ・金曜日の朝学習の時間に、15分間の読書の時間を設定。
- ・読書週間中の朝活動時間は教科ではなく読書の時間として取り組んだ。

(成果) 続けることによって、徐々に落ち着いて読書する習慣が身についている。読書目標の達成率が高学年になるにつれて低下している傾向があるので、今後も継続していきたい。

(3) 親子読書 (年2回)

- ・夏休み・冬休み期間中に親子で読書をする機会を設けている。

(成果) 親子で交流することにより子の成長を感じたり、新たな気づきがあったりするようだ。

(4) 「おはなしころりん」による読み聞かせボランティア (月2～3回)

- ・各学年、年5回程度ずつ、読書ボランティアによる読み聞かせをおこなっている。

(成果) 興味をもって親しんでいる。

(5) 移動図書を活用

- ・かもしか号、おはなしころりんによる本の貸し出し

(成果) 学校図書にはない本を読むことができ、児童は楽しみにしている。1か月ごとに交換できるのもありがたい。

(6) 図書支援活動地域ボランティアの活用

(成果) 本の修理、新刊図書の受付、図書室内の環境整備等をお願いしている。

学習に必要な本を相談したり、準備等でも大変助かっている。

(7) 図書委員会の活動

- ・図書の貸し借りの当番
- ・読書週間中の取り組み (図書ビンゴ、しおり作り、低学年への読み聞かせ、多読者の発表)
- ・ポスター作り・おすすめの本紹介

## 6 立根小学校

(1) 朝読書(全校一斉)

毎週月曜日の朝活動の時間に、朝読書を実施している。どの学級も、静かに読書に親しむことができている。

(2) 読み聞かせ

1・2年生が、朝読書の時間に「おはなし ころ」に読み聞かせをしていただいている。子どもたちは、楽しんで読み聞かせを聞いている。

(1学期8回 2学期9回 3学期8回 計25回)

(3) 市立図書館の利用 (月1回)

各学級に合わせて、本を選んで配本してもらっている。

(4) 「おはなしころりん」の利用 (月1回)

各学級に合わせて、本を選んで配本してもらっている。「ころりん新聞」でおすすめの本を紹介してもらうことで、読書のきっかけづくりに役立っている。

(5) 図書館まつり

図書委員会の発表や、ボランティアグループ（「おはなしころ」 「おはなしころりん」）の読み聞かせを行った。読み聞かせは、学級ごとに行い、お話の世界に浸ることができた。（11月）

(6) 読書ビンゴ

2学期の読書月間に、図書委員会が計画して行った。ビンゴを目指して、多くの児童が図書室を利用することができた。ビンゴをした児童には、「しおり」、パーフェクトの児童には、「2冊借りられる券」をプレゼントした。

(7) おすすめの本の紹介

図書委員会のおすすめの本と紹介カードを展示している。また、図書館まつりで紹介した本も展示することで、借りる児童が増えた。

(8) 「多読賞」などの表彰

学年ごとに、「読書冊数目標」「図書室利用目標」を設定している。

学期や年間で目標を達成した児童に賞状を渡している。学年1位の児童については全校で表彰している。

(9) 図書支援活動地域ボランティアの活用

児童が本に親しめるように配慮・工夫しながら、図書室の整理や環境づくりをしている。修理の必要な本の修繕も行っている。（毎週金曜日）

(10) 東南アジアに絵本を贈ろう

6年生 28名が、東南アジアに絵本を贈るボランティア活動を行った。「おはなしころりん」の指導を得ながら、貴重な体験をすることができた。（9月）

## 7 日頃市小学校

(1) 朝読書

毎週月・木・金の朝活動の時間に実施。静かに自分の読みたい本を読む姿が全校で見られる。

(2) 学級文庫の充実

市立図書館「かもしか号」から各クラスに20冊、市内の読書ボランティア「おはなしころりん」から、学年にふさわしい本やリクエスト本を入れた図書25冊が常時学級に置かれ、自由に読むことができる環境にある。本にふれる機会が多くもて、さまざまな種類の本に興味を持つきっかけになっている。

(3) 読み聞かせの定期的な実施

市内の読書ボランティア「おはなしころりん」による読み聞かせを、毎週木曜日の朝活動の時間に実施。月に一度、低・高学年ごとに実施している。

(4) 読書目標や必読図書の設定

学年ごとに、図書室から借りる目標冊数（1・2年120冊、3年92冊、4年70冊、5・6年56冊）を設定し、図書室に足を運ぶように工夫している。目標冊数を超えた児童に、「年間多読賞」を贈っている。また、学年で必ず読んでほしい本を選定し、各教室に置き、1年間で読むことができるように励ましている。

(5) 「図書まつり」の実施

11月に図書委員会主催の「図書まつり」を実施。おすすめの本を友だちに紹介する「読書郵便」やさまざまな種類の本に触れるための「読書ビンゴ」、たくさん本を借りて読んでもらう

ための「読書で絵を完成させよう」や図書委員会による「紙芝居の読み聞かせ」などを行い、秋の読書を深める機会としている。

(6) 心に残った本の記録の継続

図書まつりで「心に残った本カード」を書き、心に残った本について書きとめている。廊下に掲示したり、友だちとカードを読み合う時間をつくったりして、本を読む意欲にもつなげている。

(7) 親子読書の実施

冬休み中に親子で読書をして、「親子読書カード」を書いてもらっている。親子で同じ本を読んで、お互いの感想を知る機会としている。

(8) 読書の意義を家庭に啓蒙し、家庭での読書の推進を図り読書時間を確保する。

## 8 大船渡北小学校

(1) 朝読書・読み聞かせの取り組み

毎週月曜日のGタイム（掃除終了後15分間）の時間に実施。

読み聞かせは低学年で実施。（読書ボランティア）

(2) 学級文庫の充実

各学級に、市立図書館「かもしか号」と、市内の読書ボランティア「おはなしころりん」より月に一回、本の入れ替えをしながら常時図書を置き、自由に読むことができる。学習に必要な図書を学級単位で貸し出すこともあり、様々なジャンルの本や学習に必要な本をすぐ手に取ることができる環境を作るようにしている。

(3) 読書目標の設定

学年ごとに目標冊数（低学年120冊 中学年80冊 高学年5,000ページ）を設定し、たくさん本を読むように呼びかけている。目標冊数を超えた児童には「多読賞」を贈っている。

(4) 読み聞かせの実施

6月の梅雨の時期に、図書委員会の児童が紙芝居の読み聞かせを実施。雨天の日のみの実施で、室内での過ごし方の一つに設定し、より多くの児童が図書室に足を運ぶように工夫している。

(5) 読書月間の実施

6月と11月に図書委員会主催の「読書月間」を実施。図書委員のおすすめの本を紹介し掲示したり、昼の放送で図書クイズを行ったりしている。スタンプラリーを開催し、図書への関心を高めている。

(6) 読書の記録の掲示

廊下に「読書の記録」を掲示し、自分や友達がどんな本を読んでいるのか、何冊ぐらい読んでいるのかなどがわかるようにしている。担任も児童の読書冊数や読書傾向を把握しやすく、図書室に通うように促したり、本を薦めたりするのに役立っている。

(7) 親子読書の実施

冬休み中に親子で読書をすることを推奨し、「親子読書カード」に取り組んでいる。同じ本を読んだり、読み聞かせをしたりすることにより、親子で交流する機会としている。

### 【成果と課題】

教室には常時 50 冊以上の本が置いてあり、児童はたくさんの本を読むことができる。読書月間の取組や図書ボランティアによる季節に合わせた本の提示等が行われ、図書室に足を運ぶ児童も多くなってきている。

しかし、読書に対する意欲や習慣は、個人差が大きい。また、図書館の蔵書は古い本が多く、児童の興味関心や時代にそぐわないものも多いため、図書室の環境整備に取り組んでいるところである。

## 9 綾里小学校

### (1) 朝読書

(内容) 毎週月曜日の朝学習の時間に実施した。

(成果) 集中して本を読む機会となった。

### (2) 読書強化月間

(内容) 6月と11月に図書委員会を中心に行った。

6月：読書ビンゴ、図書委員おすすめの本紹介

11月：読書ビンゴ、各学年のおすすめの本紹介、読書感想文放送

図書祭り（「おはなしころりん」による読み聞かせ、各学年の代表によるおすすめの本紹介、図書クイズ）

(成果) 図書室来室児童が増え、多くの種類の本に親しむ児童の様子が見られた。

### (3) 親子読書

(内容) 夏休み・冬休みに親子読書に取り組み、読んだ本について「親子読書カード」に感想を記入し、休み明けに学校の図書室前廊下や各学級の教室に掲示する。

(成果) 本の感想を親子で交流できたという感想が多く寄せられた。

### (4) クリット（読み聞かせボランティア）による読み聞かせ

(内容) 学年に応じた本の読み聞かせをしていただいた。

(成果) 様々な種類の本に触れる機会となった。お話の世界に浸ることができ、子供達はとても楽しみにしている様子だった。

### (5) 図書支援活動地域ボランティアの活動

(内容) 毎週木曜日に図書支援活動地域ボランティアに来校いただき、新刊図書の受け入れや、図書室の環境整備などを行っている。

(成果) 季節に応じた掲示や手に取りやすいように本を配架していただき、読書環境が向上した。

### (6) 移動こども図書館の利用

(内容) 毎月1回、市立図書館「かもしか号」と「おはなしころりん」から学級用の本を借り、教室内で利用している。

(成果) 学校にない種類の本や自分の興味のある本を手にとって読むことができ、本に親しみやすい環境になっている。

(課題) かもしか号の巡回時間が低学年児童の下校時刻を過ぎているため、かもしか号の来校に合わせて、校地内に残っている児童（学童にいる児童）に本を借りに来てもらう必要がある。

## 10 越喜来小学校

- (1) 朝読書  
毎週金曜日の朝学習の時間をあてて実施している。
- (2) 読み聞かせ  
各学級とも年間9回程度、朝読書の時間を利用してボランティア団体の方々に実施していただいている。
- (3) おすすめの本  
年間5回記入している。用紙を廊下に提示するほか、図書支援活動地域ボランティアが実際の本を図書室にコーナーを設けて提示している。
- (4) 読書の記録  
学校の図書室から借りた本の個別一覧表を、「おすすめの本」記入にあわせて印刷し、各自ファイリングしている。この読書ファイルは、6年間（卒業まで）使う。
- (5) 読書まつり・ミニ読書まつり  
2学期に「読書まつり」、1・3学期に「ミニ読書まつり」を実施。読書ビンゴやしおり作りなどを行い、連日にぎわっている。達成者には2冊券を配布している。
- (6) 図書まつり  
児童朝会の図書委員会の発表時に、ボランティア団体による読み聞かせを行い、その期間に合わせて「図書クイズ」をロイロで行い、正解者には2冊券を配布している。
- (7) 2冊券  
この券を使うと、普段1冊しか借りれないところ、2冊借りることができる券で、2冊借りることができる日に使うと、3冊借りることができる券。読書まつりや図書クイズ、長期休業の特典として配布している。
- (8) 音読書  
研究部の提案により、全校で週末の音読書に取り組んでいる。
- (9) 親子読書  
毎月の月末に、親子で読書をする時間を設けている。
- (10) 我が子におすすめの1冊  
1・2学期の面談に合わせて、保護者の方に図書室に足を運んでもらい、自分の子どもに読んでもらいたい本を1冊選んで借りてもらっている。
- (11) 多読賞  
学期ごと及び年間の目標冊数を学団ごとに決めて、達成した児童を表彰している。

## 11 吉浜小学校

- (1) 朝読書  
毎朝8:10~8:20の10分間読書に親しむ時間を設けている。月曜日はじっくり読書を楽しめるよう8:10~8:30に読書時間を延長している。
- (2) 家庭読書  
毎月1回、家庭にも協力していただき、読書時間の共有や語り合い等、読書への意欲向上に

つなげている。

- (3) 図書委員会・6年生の「おすすめの本」紹介  
定期的に紹介する本を入れ替えながら、読書のきっかけ作りとしている。
- (4) 図書委員会の活動  
読書スタンプラリー、読書ビンゴ、読み聞かせ会等を実施している。
- (5) 各学期、年度末の多読者表彰  
図書委員会の活動を中心に、読書への意欲を継続するねらいで実施している。
- (6) 長期休業中の読書記録と本の紹介  
長期休業中の読書目標を設定し、個々の読書記録と本の紹介カードを掲示して、交流を図っている。
- (7) 図書支援活動地域ボランティアの活動  
週1回程度、新刊図書の受け入れや図書室の環境整備などを行って頂いている。
- (8) 「おはなしころりん」の読み聞かせ  
月1回月曜美の朝学習の時間に実施。読書以外の本とのふれあい方を学ぶ機会となっている。
- (9) 移動図書館の利用  
毎月1回、市立図書館「かもしか号」と「おはなしころりん」から学級用の本を借りている。  
児童のすぐ手に届くところにあることで、本に親しみやすい環境になっている。

## Ⅱ 中学校

### 1 第一中学校

- (1) 朝読書  
(内容) 朝15分間、教室で自分の興味のある本を読む。  
(成果) 静かな環境の中、本に向き合う時間が、生徒たちの心を落ち着ける効果があった。  
また、朝読書をきっかけに、休み時間に読書をする生徒が増えてきた。
- (2) POPの作成(国語科)  
(内容) 1学年の国語の授業でPOPの作り方を指導し、夏休みの課題としてPOPを作成した。  
その後、図書室に掲示した。  
(成果) 図書室の本に興味を持ってPOPを作成し、掲示を見ながら選書の参考にしていた。
- (3) おすすめの本紹介(図書委員会)  
(内容) 学年ごとに図書委員のおすすめの本を選び、おすすめポイントとともに玄関ホールに展示した。  
(成果) 日ごろ図書室に足を運ぶことが少ない生徒にとって、図書室に行ってみようというきっかけになった。

#### ◎新規実施予定

授業と関連した図書紹介

国語の授業の中で、図書室の本を紹介する授業を展開する予定。

## 2 大船渡中学校

- (1) 朝読書の実施  
全校朝会や学年朝会のない日の朝に実施。  
時間は8:20~8:30の10分間。  
学級文庫の本(学校図書館や市立図書館から学級として借りてあるもの)、または各自持参したものを読んでいる。
- (2) おすすめ本紹介  
新刊やおすすめ本を紹介する掲示物を作成し、掲示。
- (3) 「図書だより」の発行  
「図書委員がおすすめする本」を紹介したり、図書室での企画についてお知らせする。
- (4) 図書委員会主催(図書ビンゴ)  
図書ビンゴカードを作成し、既定の冊数を読んだら、または、図書カードに記載された分類番号の本を読み、カードがビンゴになったら、葉をプレゼントする企画。
- (5) 授業を通しての指導  
読書感想文コンクールへの取り組み  
ビブリオバトル(書評合戦)
- (6) 市立図書館による配本  
市立図書館より、年間4回学級単位で本を貸し出していただき、学級ごとに管理し、朝読書などで活用している。
- (7) 図書支援活動地域ボランティアによる図書整備と管理  
図書支援活動地域ボランティアの協力を得て、図書の廃棄や修理、配架等を行い、学校図書館の管理運営の手伝いをしている。

## 3 東朋中学校

- (1) 図書館利用の工夫
  - ア 配架の工夫  
生徒が興味をもって手に取るように配架を工夫している。入り口近くに新刊書や入荷本、季節などのテーマを設定し配架している。また、面陳列や、「帯」の掲示など、生徒の目を引くことを意識した陳列や展示も行っている。室内にもテーマ展示があり、学習やスポーツなど生徒の興味や関心を考慮したコーナーを作っている。「いわ100」に掲載されている本については棚を設け、生徒の目に入るよう配架した。  
入室すると利用案内の掲示、書架の側面には分類番号による配架案内が提示されており、本の探索に役立つ。
  - イ 委員会活動の活発化  
図書室の利用率の向上を目標に、貸し出し業務や、図書だよりの発行の他、「企画展」「宝探し」「図書ビンゴ」「しおりプレゼント」など、利用推進のための様々な活動を生徒が企画している。
  - ウ 本の購入アンケート

委員会の活動の1つとしているが、年に1回、本を購入する前に、全校生徒に読みたい本や、図書館に置いて欲しい本のアンケートをとり、本の購入の選定の参考にしている。また、職員の要望を聞き授業でも図書室が活用できるようにしている。

## (2) 読書活動の工夫

### ア 朝読書の実施

毎日8:15~8:30の15分間、全校一斉に朝読書を実施している。読む本については生徒が持参してもよいが、図書室の利用につなげるため、週替わりで学級ごとに図書室で朝読書を行うことを始めた。

また、月末に読書記録を生活ノートに記入させ読書意欲の向上を図っている。

## (3) 市立図書館の利用

定期的に市立図書館から本を借り、「学級文庫」を設置している。

## (4) 課題

図書室の利用率が読書量の増加に直接つながるわけではないが、更に利用率の向上に努めていく。そのために、書籍における情報の発信場所としての役目を果たせるよう更に利用しやすい図書室にするために、どのような工夫が必要か検討していく。

# Ⅲ 高等学校

## 1 岩手県立大船渡高等学校

### (1) 図書の収集

(内容) ① 図書の購入希望調査を定期的に実施し、探究活動や教育活動に活用する資料の充実を図っている

② 各種雑誌や新聞の定期購読

③ 文学賞や本屋大賞等、社会的な話題性の高い図書の収集

### (2) 書籍の紹介

(内容) ① 授業に関連した書籍の紹介

② 文学賞等受賞作品の紹介

③ テーマを決め、所蔵の関連図書を図書室に展示して紹介

④ 配信による新着図書の紹介

### (3) 図書室の広報、利用促進

(内容) ① 「図書だより」の配信

② 新入生対象の図書室オリエンテーションの実施

### (4) 校内読書バトル

(内容) 1・2年生全員で大高読書バトル(書評合戦)実施

### (5) 図書委員会

(内容) ① 図書室の貸し出し当番

② 文化祭の古本市運営

③ 大高読書バトル運営

- (6) 外部図書館の活用  
(内容) 県立図書館 I ルームの活用 (団体貸出)

## 2 岩手県立大船渡東高等学校

- (1) 蔵書の充実
- ① 年2回、図書の購入希望調査を実施し、生徒・教職員の要望を積極的に取り入れるとともに、各学科の専門書の充実
  - ② 定期購読誌・新刊・話題書・新書・名作などの充実
- (2) 所蔵資料の周知、広報と利用促進、読書の推進
- ① 年4回「図書館だより」による新刊書の紹介
  - ② おすすめ本の展示
  - ③ 1年生を対象とした図書館ガイダンスの実施
  - ④ 読書感想文・読書体験文コンクール(校内・外部)への応募
  - ⑤ 多読生徒への図書カード贈呈
  - ⑥ 「朝読書」の確保(8:30~8:40)
- (3) 視聴覚設備・機器管理と整備  
視聴覚機器を使った図書館での教育活動
- (4) 図書委員会活動
- ① 「先生がすすめる本」を紹介するポスター作成、掲示
  - ② ボランティア活動(東南アジアに絵本を届ける活動)
  - ③ 古本市の企画

## IV こども園・保育園・幼稚園・保育所

### 1 盛こども園

- (1) 日常の保育の中での読み聞かせ  
各クラスの担任が、活動の間や午睡の前、降園前等に各部屋で絵本や紙芝居の読み聞かせを行っている。「ごっこ遊び」や絵本を基にした劇等の発表につながることもある。
- (2) 季節の遊び・行事・食育に関する絵本・紙芝居  
年中行事(お正月・豆まき・ひなまつり・こいのぼり・七夕・七五三・クリスマス)の由来や食育活動(栽培・食材に触れる)と連動し絵本と一緒に読み親しみを持ってもらえるように工夫している。
- (3) 絵本の貸し出し  
5歳児になると、絵本の貸し出しが始まり、毎週絵本を借り、家庭に持っていき家族と呼んでもらう活動。
- (4) 月刊誌配布(1歳児~5歳児)  
月1回園で選んだ本を購入して絵本に触れる機会を作っている。

## 2 大船渡保育園

### (1) 家庭への本の貸し出し

(内容) 子供が読みたい本を1回4～5冊程度、自由に本の名前を記入し貸し出している。

(成果と課題)

- ① 本箱からお気に入りの本を選ぶ姿を見守る親御さん、そこに親子の会話が広がっている。
- ② 子供たちの中には、拾い読み出来るようになっている子もいるが、読み聞かせることの、大切さを伝えていく。
- ③ 同じ本を繰り返し借りる子や、借りる事が楽しくて読まないまま返す子、など、いろいろですが、本に親しむ第一歩になっている。
- ④ 中には毎日、読んであげてくれることを、時には負担に感じている方もみられた。
- ⑤ コロナ等の感染症流行で、貸し出しを中止し、途中再開したときの周知が徹底できず、今年度は利用が少なくなっている。

### (2) 市立図書館の利用

(内容) コロナで中止していた年長児の、市立図書館活用体験を再開予定。

図書館に出掛けて、読みたい本を選択し、公共の場でのマナーを守り、静かに本を読んだり、本を借りてから返すまで、大切に扱うことを学ぶ機会にする。

### (3) 月刊絵本の活用、

2歳児以上児に、年齢別に選んだ月間絵本の読み聞かせ、内容を共有した後、家庭に持ち帰り、親子で楽しむ。(本を持ち帰るのを楽しみにしている)との声もあった。

### (4) 保育の中で毎日担任が選び、数冊読み聞かせている。

### (5) 園内に図書コーナー

ホール・玄関ホール・二階踊り場・廊下と4か所に設けてあり身近に本がある環境にしている。

(成果)

- ① 自由に取り出し読むだけでなく、小さい子は遊びにも使う姿が見られる。
- ② 特にホールにあるコーナーでは自由に取り出して読んでいる。また年長児が年下の子に読み聞かせている微笑ましい姿が見られ、いたわる気持ちや年長としての自覚を育んでいる。

## 3 明和保育園

### (1) 絵本への関心を高める

#### ○環境整備

- ・遊戯室や保育室など園児が手に取りやすい場所に絵本棚を設置し、発達段階や興味・関心にそった絵本や図鑑などを用意し、本に触れる機会を増やす。
- ・新規購入図書の紹介などをしてきっかけづくりをする。

#### ○絵本の読み聞かせ

- ・読み聞かせや読書の時間をとり、園児と保育者との触れ合いや、落ち着いた時間をとっている。読み聞かせ後に、感想を共有し、共感を広げる。
- ・行事に関連した絵本を手にとれる場所に並べたり、読み聞かせをする。行事の由来を知り、興味が持てるようにする。

#### ○月刊絵本の配付（4・5歳児）

- ・「月刊絵本」を配布し、保育者や友だちと読んだりして絵本に親しみ、家庭でも楽しめる取り組みをしている。
- ・園で読んだ絵本を家庭でも読むことで、園での学びや子どもの様子を保護者と共有する。

### (2) 家庭との連携

#### ○絵本の貸し出し

- ・「貸し出し絵本コーナー」を設け、送迎の際に親子で自由に借りられるように開放している。親子の触れ合いの時間、興味の共有にもなっている。
- ・家庭でも読み聞かせや読書が行われるよう、読書活動の楽しさと大切さについて園だよりなどで機会をとらえて働きかける。
- ・利用している家庭が決まっているので、もっと浸透するように働きかけを工夫する。

### (3) 地域との連携

#### ○市立図書館の利用

- ・年長児（5歳児）が市立図書館出かけて、図書館職員による読み聞かせを鑑賞したり、本を借りたりする体験をする。
- ・たくさんの本が並んでいる光景を楽しんだり、保育園にはないさまざまな絵本を知ったりと、いつもとは違う環境で本を楽しめる機会になっている。
- ・公共施設の利用の仕方を学ぶ良い機会にもなっている。

#### ○読み聞かせボランティアの利用（今後の取り組み）

- ・絵本への関心がより一層高まるきっかけづくりとして、外部の方に読み聞かせをお願いする機会を持ちたいと考えている。

## 4 末崎こども園

### (1) 避難訓練（毎月）

絵本や紙芝居を通して、火遊びをしない約束や避難訓練の大切さを知らせている。

### (2) 交通安全指導（年4回）

絵本や紙芝居を通して、交通ルールについて知らせている。

### (3) 誕生日参観（毎月）

誕生会の中で、お楽しみとして「大型絵本」などの読み聞かせを行っている。

### (4) 七夕会、クリスマス会、豆まき会、ひなまつり会等

昔からの伝統行事の由来について、紙芝居等で知らせている。

※ そのほか、日々の保育の中で絵本や紙芝居等の読み聞かせを行っている。

### (5) 保育室に自由に絵本が読めるコーナーを設けている。

### (6) 月に1回音楽の先生による絵本の読み聞かせを行っている。

## 5 あかさきこども園

- ・色々な絵本や紙芝居の読み聞かせ  
園児の年齢や育ちに合った絵本や紙芝居を選び、日常保育の中で毎日、読み聞かせを行う。
- ・避難訓練(毎月)  
紙芝居・絵本を用いて避難時に気を付ける事等を伝え、避難訓練の大切さを知らせる。
- ・交通安全・防犯指導  
紙芝居・絵本を用いて交通ルールや防犯意識が高まるように読み聞かせを行う。
- ・季節の行事  
行事(お正月・豆まき会・ひな祭り会・鯉のぼりの集い・七夕会・七五三・クリスマス)等伝統行事の由来について、絵本や紙芝居で知らせる。
- ・図書の貸し出し(年長児 週1回) 10月頃～3月までの期間  
毎週末、絵本の貸し出しを行う。翌週の月曜日に返却をする。  
子どもが選んだ絵本を家庭に持ち帰り、親子の触れ合い読み聞かせを行う。
- ・月刊誌絵本の取組  
1歳以上児から、年齢に合った月刊誌絵本をこども園で選び、月末に家庭に持ち帰り親子で楽しんでもらえるような取り組みを行う。
- ・こども園の絵本コーナーの活用  
子ども達がいつでも絵本や図鑑、迷路等を手に取って楽しめるように「絵本コーナー」を開放する。
- ・移動図書館「かもしか号」の活用(毎月1回)  
月1回の巡回図書館から絵本や紙芝居をお借りして、読み聞かせを行う。

## 6 いかわこども園

- (1) 日常の読み聞かせ  
年齢に応じた絵本の読み聞かせを行っている。
- (2) 「月間絵本」への取り組み  
3歳以上に関しては、園で選んだ「月間絵本」を家庭で購入していただき、絵本に親しみ、家庭でも楽しんでいただけるような取り組みをしている。
- (3) 子育て支援センター「おひさまひろば」での貸し出し絵本を実施
- (4) 子育て支援センター「おひさまひろば」での「おはなしころりん」の読み聞かせ(月1回)

## 7 立根こども園

- (1) 図書の貸し出し  
ここ数年は図書の貸し出しは行っていませんが、状況を見ながら絵本の貸し出しを行い、親子のふれあい時間が持てるようにしていきたいと考えている。  
遊戯室に「絵本コーナー」を設けており、絵本にふれあう機会を作っている。

## 8 日頃市保育園

### (1) 絵本の貸し出し「もりのとしょかん」

- ・毎日（月～金曜日）絵本の貸し出しを実施。

送迎の際に、親子で自由に借りられるように、玄関先に「絵本コーナー」を開放している。

- ・年長児は、自分で絵本を選んで借りる。

親子で「どの絵本にするか」、一緒に選んだりすることも楽しみになっているようです。絵本を通して、親子の触れ合いの時間にもなっている。

年々借りる家庭が減少してきているので、働きかけていきたい。そして、大好きなお母さん、お父さんから読んでもらうことは、子どもにとって特別な時間であり、生涯を支えることにも繋がっていくことを少しずつでも広めていければと思います。

### (2) 各保育室での絵本(紙芝居)の読み聞かせ

毎日、「お昼寝前」「朝の会・帰りの会」などで、保育者が各年齢にあった絵本の読み聞かせをし、絵本に親しませるようにしている。

## 9 綾里こども園

### (1) 絵本の読み聞かせ（乳児～幼児向け）

園児の年齢や育ちに合った絵本を選び、季節や与えたい時期等も考慮しながら、日常保育の中で読み聞かせを行う。保育者は、朝の会や帰りの会、就寝前の時間等を活用しながら、絵本や紙芝居の読み聞かせを日常的に行っている。

### (2) 行事関係の絵本に親しむ

園では、年間を通して様々な行事（遠足・七夕・運動会・発表会・クリスマス会・節分・ひなまつりなど）に取り組んでいる。

行事関連の絵本を事前に読み聞かせることで、行事の内容について知り、自分なりにイメージするなど活動に期待を持てるようにする。

### (3) 月刊絵本に親しむ（1歳～5歳児）

「月刊絵本」（個人購読）を保育者や友だちと見たり読んだりして楽しむ。また、家庭に持ち帰り、親子で本に触れたり語り合ったりするなど、絵本に親しむ時間をつくる。

### (4) 読書の環境整備

遊戯室（ホール）や保育室、廊下など園児が手に取りやすい場所に絵本棚を設置し、「絵本コーナー」として利用する。

### (5) 読書ボランティアの活用

参観日等の園行事や普段の園生活の中で、読書ボランティアの読み聞かせをお願いし、園児や保護者が絵本に親しむ時間をつくる。

## 10 越喜来こども園

(1) 日常の読み聞かせ

日常の園生活の中で、朝の活動の中やお昼寝の前などに、保育士による絵本の読み聞かせの時間を設けることを推奨している。

(2) 絵本コーナーの設置

各保育室や廊下などに絵本コーナーを設けて、園児が普段から自分が好きなように絵本を手にとることができるようにしている。

(3) 「おはなしころりん」による読み聞かせ

令和7年度から毎月1回、特定非営利活動法人「おはなしころりん」による読み聞かせ会を開催している。

(4) 様々な園行事・活動での絵本の活用

安全集会、七夕祭り会、クリスマス会などの様々な園行事・活動の中で、安全や防災に対する意識を高めたり、日本や地域の伝統行事の由来や関連するお話に対する興味関心を深めることを目的として、紙芝居や絵本の活用の推進を図っている。

(5) 「月間絵本」の購読

毎月、絵本の個人購入をすすめている。友だちと一緒に読んだり、家族とよんだりして、読書に親しむ機会と捉えている。

## 11 吉浜こども園

① 安全の日

「安全の日」に合わせ、不審者対応や交通安全に関する「大型絵本」で理解を深めている。

② 行事関係

七夕・クリスマス・みずき団子作り・豆まき・ひな祭りなどの行事に合わせ、由来等を絵本で理解させている。

③ おはなし会の実施

令和6年度より年2回実施。おはなしころりんから派遣していただき、未満児、以上児対象に、それぞれに読み聞かせやエプロンシアターなど行ってもらった。

④ 園内研修

おはなしころりん代表・江刺さんを講師に迎え「読み聞かせのススメ」をテーマに研修会を実施した。

⑤ 日常活動

毎日の「朝の会」「帰りの会」の前後で読み聞かせをしている。

また、昼寝前の自由時間に読み聞かせを行ったり、自由に読書をする子もいる。

製作に関わり、関連した絵本を読み聞かせ、イメージ作りに活用している。

## 12 海の星幼稚園

- (1) 日常の保育
  - ・季節や年齢を考慮しながら選び、読み聞かせを行っている。  
(帰りの集い・学年別の活動)
  - ・本棚が保育室にあり、子ども達は自由遊びの時間や給食後に、自分で絵本を選び、見たり読んだりしている。
- (2) 行事関連
  - ・事前に行事に関連した絵本や紙芝居の読み聞かせを行い、行事の内容を理解したりイメージを持てるようにしている。  
(遠足・七夕・運動会・七五三・クリスマス会・豆まき・ひなまつり等)
  - ・交通安全教室や避難訓練(火災・地震等)を行った際は、絵本や紙芝居の読み聞かせを行い、交通ルールを再確認している。
- (3) 未就園児教室(毎月3～4回)
  - ・未就園児(0～3歳)の年齢に合わせた読み聞かせを毎回行っている。

## 13 ドレミ保育所

毎月の誕生会や季節の行事に合わせた読み聞かせ

保育所内の行事の中で、大型絵本や本を図書館から借りて、絵本にふれあっているのと、毎日、朝の集いの時やお昼寝前に紙芝居や絵本を読み聞かせしている。

蔵書数が少ないので、いろいろな本に出会えるよう、市立図書館から本を借りたり、かもしか号を利用している。

今後、読み聞かせボランティアさんを利用したり、図書館へ行き、好きな本を借りたりする体験も取り入れ、もっと本とふれあえるようにしてあげたい。

# V 読書ボランティア団体

## 1 歌とおはなし「クリット」

- (1) 市立図書館「おはなしパレード」 隔月第2土曜日 年6回
- (2) 綾里小学校「おはなし会」 不定期
- (3) ブックボーイ「おはなし会」 年1回
- (4) 末崎こども園 年長 約年10回

## 2 読み聞かせボランティア「こころ」

- (1) 学校行事支援  
立根小学校「朝読書」(8:15から10分間) 1・2年生対象

- (2) 子育て支援  
市立図書館「おはなしパレード」 隔月第2土曜日（11：00から30分間）

### 3 特定非営利活動法人「おはなしころりん」

- (1) 読み聞かせおはなし会の開催
- ① 定期活動
    - ア 市内小学校（7校：340回/年）
    - イ 福祉施設等（3施設：30回/年）
    - ウ 市立図書館（おはなしパレード）（12回/年）
    - エ 市内こども園（1施設：12回/年）
    - オ その他市外施設（2施設：20回/年）
  - ② 定期イベント
    - ア 市立図書館（おたのしみ親子劇場）（1回/年）
    - イ 市内小学校「読書まつり」（4校：12回/年）
    - ウ 市社会福祉協議会主催行事（13回/年）
    - エ 市内保育園・学童保育等（2施設：3回/年）
  - ③ 依頼による「出前おはなし会」
    - ア 保育園・こども園等（5施設：6回/年）
    - イ 市内特別支援教室（2教育機関：2回/年）
    - ウ その他の団体や地域行事等（10団体：20回/年）
  - ④ 自主事業のおはなし会
    - ア おはなしサロン高齢者（24回/年）
- (2) 手づくり紙芝居の製作と読み聞かせ  
気仙各地に伝わる民話や史実及び創作童話を題材とした「手づくり紙芝居」を製作し、方言で読み聞かせを行う。
- (3) マスコミやSNSを活用した絵本や紙芝居の紹介等
- ① 東海新報 書評連載「絵本の世界」（隔週火曜日、50回/年）
  - ② Youtube 配信 紙芝居とふれあい遊び動画（6回/年）
- (4) 移動子ども図書館
- ① 市内小学校（全11校） 全クラスに1回/月34～30冊貸出し  
「ころりん新聞」（年6回発行）
  - ② 子育て支援団体（8団体） 各団体1回/月 おはなし会・貸出しなど
  - ③ 地域巡回（高台移転先・災害公営住宅・集会所等17か所） 1回/月
  - ④ 地域交流図書室「おはなしサロン」（おはなしころりん事務所隣接）  
週4日開室（月・火・金・土） おはなし会・貸出し・古本市・イベントなど
  - ⑤ 読書状況アンケート調査 1回/年、市内全小学校（11校）の5・6年生対象
- (5) 市防災観光交流センター（おおふなぼーと）関係事業
- ① 読書活動推進事業 絵本や児童書の貸し出し、外国絵本の展示
  - ② 読み聞かせおはなし会 子ども・子育て世代向け

- ③ お楽しみ交流会 大人向け民話紙芝居のおはなし会
- ④ おすすめ本の企画展示 市民が市民に紹介したい本とコメントを展示
- ⑤ イベント開催・交流活動 子ども遊び・防災学習など紙芝居読み聞かせを交えたイベントを随時開催
- ⑥ 絵本作家ワークショップ 1回/年開催 市内保育園・小学校対象
- (6) 絵本作り(東南アジアに絵本を届ける活動)  
市内小・中学校及び高等学校(10校)で実施
- (7) 読書推進関連講演会  
市内外の養育機関・乳幼児学級・家庭教育学級など、読書ボランティア研修、県内大学等での講演会開催(随時)
- (8) 軒下古本市  
事務所内外に、絵本・児童書・その他の書籍を常時約300冊配置し、無償又は低価格で提供。
- (9) 「おたより やりとり 思いやり」  
対面を避け、手紙(文通)による交流活動。
- (10) 「感謝のことば」のエッセイの募集と表彰  
気仙地域(大船渡市・陸前高田市・住田町)の小学4～6年生対象  
身近な相手への感謝の気持ちを短文エッセイに書き表す。

## VI 市立図書館

- (1) 乳幼児・児童の読書推進
  - ① 読み聞かせ会「おはなしパレード」(毎月第2・4土曜日)  
〔対象〕小学生以下の子どもと保護者  
〔内容〕読み聞かせボランティア団体を演者とした絵本等の読み聞かせ会
  - ② おたのしみ親子劇場  
〔対象〕小学生以下の子どもと保護者  
〔内容〕大会場でスクリーンに絵本を大きく映し出しての絵本の読み聞かせや人形劇など
  - ③ ブックスタート事業(隔月)  
〔対象〕乳児と保護者  
〔内容〕保健介護センターにおける「7カ月児健康相談」の参加者に対し、ブックスタートパック(絵本等のセット)を配付するとともに、絵本の読み聞かせを行い、乳児期から本と親しむ機会を提供する。
- (2) 青少年・成人の読書推進
  - ① ヤングアダルト(中高生等対象)図書コーナーの充実
  - ② 移動図書館車「かもしか号」による、中学校(学級単位)での貸出し、配本
  - ③ 図書館だよりの発行(小・中・高校生向け)
  - ④ だっこでおはなし会等の開催

0～2歳の子どもと保護者向け読み聞かせとブックリストの配布。

⑤ 企画図書展の開催

所蔵資料を活用し、市内外の時節に応じたテーマに沿った関係図書を展示し、読書推進と図書館の利用促進を図る。

⑥ 市民文化会館事業との連携

「リアス・ウェーブ・フェスティバル」等のイベントとタイアップし、読書推進と図書館の利用促進を図る。

(3) 読書ボランティアの育成

読み聞かせボランティア団体を通じて、関心のある方々に「おはなしパレード」など読み聞かせの機会への参加を促し、新たなボランティアの育成に努める。

また、ボランティア団体連絡会議を開催し、情報交換を図る。

(4) 学校図書館との連携

市内小・中学校 14 校の学校図書館と連携し、相互に補完しあうことで、児童・生徒の読書活動を支援する。

① 大船渡地区学校図書館協議会との連携

② 移動図書館車「かもしか号」の巡回（毎月 1 回）

各学校を移動図書館車のステーションに設定し、クラス単位または個人への貸出しを実施。

(5) 職員研修の充実

スタッフ個人のスキルに応じた研修受講機会を設けることにより、図書館運営及び利用者サービスの向上に努める。

(6) 県内外図書館との連携

岩手県立図書館及び県内公共図書館等とのネットワークを活用し、最新情報の入手等、図書館運営の充実を図る。